

三重ものづくり企業と医療機器メーカーとの交流・展示会 in 本郷を開催しました!

「三重ものづくり企業と医療機器メーカーとの交流・展示会 in 本郷」(商工組合日本医療機器協会・県との共催)を平成26年5月15・16日の2日間、東京都の医科器械会館で開催し、多くの方々にご来場いただきました。

今回2回目となる本展示会では、県内のものづくり企業と首都圏の医療機器メーカーとのマッチングを目的として、県内企業23社と岐阜県企業2社が独自の製造技術・製品などを出展したほか、今回から新たに商談会も併催しました。(商談会:三重県企業16社、27件 岐阜県企業1社、5件)

出展者と医療機器メーカー、医療機器関連事業者などにより、製品や製造技術などについて活発な意見交換が行われ、今後の取引などにつながる成果も得られました(右記参照)。



展示会の様子



展示会でのマッチング成果	
試作・見積依頼	17件
図面等検討依頼	4件
訪問等の約束	7件
資料送付等の約束	18件
商談会の実施	32件

広域連携 に取り組んでいます!

三重県では医療・福祉機器等の製品開発の促進をめざして、国内の自治体や団体等と連携し、それぞれの特徴を生かした広域的な取り組みを行っており、その一環として、岐阜県及び広島県との間で連携事業を行っています。

岐阜県とは、平成24年度から交流しており、東京都本郷で開催した医療機器メーカーとの交流・展示会では、岐阜県のものづくり企業が出展しました。その取り組みにおいて、三重県・岐阜県両県の企業との間で共同研究がスタートした事例も生まれています。

また、今年度からは広島県との連携も開始しました。1回目の連携会議を7月24日、25日に広島市で開催し、各県が実施する事業への相互参画など具体的な取り組みを検討しました。

今後、各県の特徴を生かした連携事業を順次企画し、ご案内する予定です。ぜひご参加ください。



広島県との会議の様子



岐阜県との会議の様子

メディカルバレー企業紹介

井村屋グループ株式会社

井村屋グループ(株)は、津市に本社を置き、今年発売50周年を迎える「肉まん・あんまん」のほか、「あずきバー」や「ゆであずき」など数々のヒット商品を誕生させています。

今回は、技術戦略室長の伊藤宏規氏、技術戦略室課長の中村昌弘氏にお話を伺いました。

少子高齢化が進む中、新たな需要に応えようと、当社ではカロリー摂取が困難な高齢者向けに「高カロリー豆腐」の開発を進めています。年齢を重ねるにつれ、食が細くなり、十分なカロリーを摂取できない高齢者の方々にも、手軽にカロリーを摂取してもらえる商品を開発したいと考えました。



長期保存が可能な「美し豆腐」

平成25年度、県の地域資源活用型医薬品等開発促進事業費補助金を活用して、馴染みのある食品で、自社の持つ商品開発力と販売力を生かせるものとして、「高カロリー豆腐」の開発に取り組み始めました。この豆腐には、すぐにエネルギーとして利用される、中鎖脂肪酸オイルを使用していま

す。また、原材料の配合バランスを工夫し、なめらかな食感に仕上げています。さらに、地域資源である三重県産大豆や尾鷲海洋深層水(にがり)を使用し、安全・安心で美味しい製品づくりにこだわりながら、開発を進めています。

今後は、病院と連携して、高カロリー豆腐の摂取効果を試験し、エビデンスを蓄積していきたいと考えています。

また、この製法を活用して、「豆乳」を使った介護食など、自社の技術やノウハウを生かした商品開発に、さらに力を入れていきたいと考えています。



本社

昨年、発売40周年を迎えた「あずきバー」

井村屋グループ株式会社

〒514-8530 三重県津市高茶屋7丁目1-1
TEL: 059-234-2131 FAX: 059-234-2130
<http://www.imuraya-group.com/>

株式会社サカキL&Eワイズ

(株)サカキL&Eワイズは松阪市に本社を置き、医療・健康・福祉分野では、不織布を使用した一般・滅菌医療機器の受託製造を中心に行っており、平成25年度には、「ドクターヘリ・車載バックボード用器械台」を開発しました。

今回は、代表取締役社長の榊宏之氏にお話を伺いました。

当社は営業倉庫業・貨物自動車取扱業・業務請負業を主業務として、保管管理、輸送手配、荷役業務、検査検品、加工業務等を請け負っています。

その中で、医療、健康、福祉分野には衛生材料の滅菌加工、ラベル貼り、リパック梱包業務等を請け負ったことを契機に業務内容を広げ、平成19年には医療機器製造業許可、平成20年には医療機器製造販売業許可を取得しました。

また現在、医療機器の独自ブランド「Cleyera」クレイラを立ち上げ、販売会社として有限会社クライエルジャパンを設立し滅菌ドレーブを中心に展開しております。

当社では、平成25年度、県の医療・福祉機器等研究開発補助金を活用して、「ドクターヘリ・車載バックボード用器械台」を開発しました。「Cleyera」のドレーブ※

※ドレーブ…手術部位の清潔を保つために、手術部位だけを露出させてそれ以外は滅菌した布でバリアするという目的で使用される。

ドクターヘリで患者を運ぶ際に、患者を乗せたバックボードに、心電図や呼吸器などを載せた器械台をセットすることで、患者と同時に器械類を運ぶことができます。これにより、救急隊員が最低でも4人で機材を運ぶ必要があったところを、2人での運搬を可能にしました。

今後は、製造メーカーが異なるバックボードにも器械台をセットできるようにするなど、さらに改良を重ねる予定です。

当社では、器械台以外にも、医師の様々なニーズに応えるため、材料調達から細かなサイズ・使用感を含めて共同開発し、製造・販売を行っています。今後も、倉庫・物流と医療機器の二つの分野におけるノウハウに、病院・企業との連携やアイデアを組み合わせることで、新たな商品開発に取り組んでいきたいと考えています。



ドクターヘリ・車載バックボード用器械台

株式会社サカキL&Eワイズ

〒515-0041 三重県松阪市上川町3639-21
TEL: 0598-28-5190 FAX: 0598-28-7881
<http://www.sakaki.to/>